5　資料編

令和５年度福島ユニットセンター組織図

（令和６年３月31日現在）

福島県立医科大学

大学事務局
（企画財務課、総務課）

学術ワーキンググループ

センター長
（特任教授　橋本浩一）

地域運営協議会

副センター長

小児科学講座	教授	細矢光亮
公衆衛生学講座	教授	安村誠司
産科婦人科学講座	教授	藤森敬也
ふくしま子ども・女性医療支援センター	教授	西郡秀和
郡山事務所長	特命教授	長坂雄一

リスク管理責任者（医科大学助手　佐藤晶子）
情報管理責任者　（産科婦人科学講座助手　福田冬馬）
情報管理責任者補佐（医科大学助手　尾形優香）
医学的相談責任者（センター長兼務）

事務局長	遠藤　洋	（兼福島本部事務所事務長）
事務局次長	安藤芳昭	（兼会計責任者）
事務局次長	浜津美香	（兼郡山事務所事務長）
RC統括責任者	佐藤幸子	（兼福島本部事務所RC責任者）

郡山事務所

郡山事務所長
（長坂雄一）

事務長
（浜津美香）

ＲＣ責任者
（徳永真由美）

【担当地域】
県中地域、県南地域
いわき地域、会津地域

福島本部事務所

福島本部事務所長
（橋本浩一）

事務長
（遠藤　洋）

ＲＣ責任者
（佐藤幸子）

【担当地域】
県北地域、相双地域

※事務局職員数４０名（事務 19 名ＲＣ２１名）

・福島本部事務所２０名（事務１０名ＲＣ１０名）
・郡山事務所　　２０名（事務　９名ＲＣ１１名）

エコチル調査福島ユニットセンターの沿革

平成 22.1.12 ～ 15	環境省、ユニットセンターを全国に公募
平成 22.31	環境省、「子供の健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）基本計画」を公表
	コアセンター（独立行政法人国立環境研究所）、エコチル調査を開始
平成 22.4.12	環境省、本県を含む全国15ユニットを選定
平成 22.11	福島県立医科大学において福島ユニットセンターが本格稼働
	（センター長：安村誠司、執務室：公衆衛生学講座研究室）
平成 23.1	RC職員を配置、エコチル調査の参加者登録（リクルート）開始
	調査対象地区は、福島市、南相馬市、双葉郡の計10市町村
平成 23.3.11 ～	東日本大震災と東京電力福島第 1 原子力発電所事故の発生
平成 23.4.19	調査地区拡大（伊達市、伊達郡 3 町）に関するコアセンターヒアリング
平成 23.5.9	コアセンター運営委員会、調査地区拡大について承認
平成 23.5	福島本部事務所を 10 号館 5 階（旧カルテ庫）に整備
平成 23.6.7	伊達市及び伊達郡 3 町（桑折町、国見町、川俣町）のリクルート開始
平成 24.4	調査対象地域拡大等のため職員を増員（事務 8 人、RC6 人）
平成 24.5.1	福島市内に新町オフィスを開設
平成 24.6	本県の調査対象地域を県内全域に拡大することを決定
	（環境省の予算的、人的サポートのほか国の主体的活動、各種支援業務の実施が前提）
平成 24.7	橋本浩一センター長の体制に移行
平成 24.8	副センター長兼郡山事務所長（環境省より出向）、次長兼郡山事務所事務長（郡山市 OB）を配置
平成 24.9	郡山事務所を開所し、その支所を白河市、会津若松市、いわき市に設置
平成 24.9.4	10 月からのエコチル調査全県化について記者発表
平成 24.10	調査対象地域を県内全 59 市町村に拡大、リクルート開始
	職員を増員（平成 25 年度の人員体制：職員約60人、派遣職員約10人）
平成 25.6	事務局長兼福島本部事務所事務長（福島県 OB）を配置
平成 25.10	次長兼会計責任者（福島市 OB）、郡山事務所 RC 責任者を配置
平成 26.3	参加者登録（リクルート）の終了
	参加者謝礼として電子マネー (nanaco) を導入
平成 26.10	詳細調査のリクルート開始
平成 26.11	詳細調査のうち訪問調査（生活環境調査）を開始
平成 26.12	11 月末で郡山事務所の 3 支所を廃止、協力医療機関における常駐業務も終了
	これに伴い郡山事務所の職員数を縮減（平成 26 年度末は本部事務所と合せ職員 39 人）
平成 27.4	詳細調査のうち医学的検査・精神神経発達検査を開始
	大学事務局（企画財務課）から職員を配置
平成 27.10	プロジェクト教員を配置
平成 29.1.30	1 月 29 日で新町オフィスを閉鎖し、現在の場所に業務を集約
平成 31.4	全体調査のうち学童期検査（小学校 2 年生対象）を開始
令和 2.2	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面調査を中止
	（再開：学童期検査 8 月、詳細調査 9 月、その後も感染状況を踏まえ弾力的に対応）
令和 3.6	令和 3 年福島県沖地震で被災した郡山事務所を移転
令和 4.7	参加者が 18 歳に達する令和 14（2032）年度までユニットセンターの設置・運営の継続を決定
令和 5.4	全体調査のうち学童期検査（小学校 6 年生対象）を開始

エコチル調査協力医療機関・施設一覧　（令和6年3月31日現在）

1）協力医療機関（リクルート・妊娠・出産・出産後１か月調査）

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当	
1	県北	日本赤十字社　福島赤十字病院	福島市	福島本部事務所	
2		医療法人　明治病院	福島市		
3		医療法人　いちかわクリニック	福島市		
4		医療法人　ささや産婦人科	福島市		
5		(医) ABCクリニック　新妻産婦人科	福島市		
6		本田クリニック産科婦人科	福島市		
7		済生会福島総合病院	福島市		
8		一般財団法人大原記念財団　大原綜合病院	福島市		
9		公立大学法人　福島県立医科大学附属病院	福島市		
10		大川レディースクリニック	福島市		
11		菅野産婦人科医院	福島市		
12		セイントクリニック	伊達市		閉院
13		二本松ウイメンズクリニック	二本松市		
14		社会保険福島　二本松病院 (現:JCHO二本松病院)	二本松市		平成25年3月31日終了
15		渡辺医院	二本松市		
16		医療法人　慈久会　谷病院	本宮市		
17	県中	たなかレディースクリニック	郡山市	郡山事務所	
18		医療法人　岡崎産婦人科（現：岡崎バースクリニック）	郡山市		
19		公益財団法人湯浅報恩会　寿泉堂綜合病院	郡山市		
20		塚原産婦人科内科外科医院	郡山市		
21		トータルヘルスクリニック	郡山市		
22		一般財団法人太田綜合病院附属 太田西ノ内病院	郡山市		
23		公益財団法人　星総合病院	郡山市		
24		一般財団法人脳神経疾患研究所附属　総合南東北病院	郡山市		
25		古川産婦人科医院	郡山市		
26		独立行政法人国立病院機構　福島病院	須賀川市		
27		小森山産婦人科医院	須賀川市		閉院
28	県南	片倉医院産科婦人科	白河市		
29		福島県厚生農業協同組合連合会　白河厚生総合病院	白河市		
30		福島県厚生農業協同組合連合会　塙厚生病院	東白川郡		
31		岩佐医院	茨城県久慈郡		福島県民のみリクルート
32	会津	舟田クリニック産科婦人科	会津若松市		閉院
33		一般財団法人竹田健康財団　竹田綜合病院	会津若松市		
34		一般財団法人温知会　会津中央病院	会津若松市		
35		JA 福島厚生連　坂下厚生病院	河沼郡		
36	相双	医療法人　あらき産婦人科クリニック	相馬市	福島本部事務所	
37		南相馬市立総合病院	南相馬市		
38		レディースクリニックはらまち	南相馬市		
39		西潤マタニティクリニック	南相馬市		
40		原町中央産婦人科（現：南相馬中央医院）	南相馬市		
41		医療法人社団青空会　大町病院	南相馬市		
42		双葉厚生病院	福島市飯坂		
43		今村クリニック	双葉郡浪江町		
44		公立相馬総合病院	相馬市		新生児搬送時の検体採取のみ
45	いわき	医療法人栄真会　村岡産婦人科医院	いわき市	郡山事務所	
46		渡辺産科婦人科	いわき市		
47		かたよせクリニック産科・婦人科 (現：医療法人かたよせウイメンズクリニック)	いわき市		
48		NOBU マタニティクリニック	いわき市		転院による検体採取のみ
49		いわき市立総合磐城共立病院（現：いわき市医療センター）	いわき市		
50		森田泌尿器科産婦人科医院（現：森田泌尿器科医院）	いわき市		
51		つくだ町産婦人科医院	いわき市		閉院
52		月川レディースクリニック	いわき市		
53		佐藤マタニティー・クリニック	いわき市		

2）詳細調査協力医療機関および協力施設　■は令和５年度協力医療機関

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	県北	公立大学法人　福島県立医科大学附属病院	福島市	福島本部事務所
2		一般財団法人大原記念財団　大原綜合病院	福島市	
3		公立藤田総合病院	国見町	
4		医療法人　いそめこどもクリニック	福島市	
5		医療法人　いちかわクリニック	福島市	
6		医療法人　おひさま子供クリニック	福島市	
7		医療法人　竹内こどもクリニック	福島市	
8		医療法人武田小児科	伊達市	
9		土川内科小児科	二本松市	
10	相双	公立相馬総合病院	相馬市	
11		医療法人彗生会　菜のはなこどもクリニック	相馬市	
12	県中	一般財団法人太田綜合病院附属　太田西ノ内病院	郡山市	郡山事務所
13		公益財団法人　星総合病院	郡山市	
14		独立行政法人国立病院機構　福島病院	須賀川市	
15		医療法人はぐくみ　いいもり子ども医院	郡山市	
16		医療法人　健生会　おおがクリニック	郡山市	
17		医療法人　おおのこどもクリニック	郡山市	
18		医療法人　かわなこどもクリニック	郡山市	
19		医療法人仁寿会　菊池医院	郡山市	
20		医療法人　久米こどもクリニック	郡山市	
21		医療法人英徳会　さかい小児科クリニック	郡山市	
22		医療法人喜信会　じんキッズクリニック	郡山市	
23		医療法人宣誠会　すみこしこどもクリニック	郡山市	
24	県南	福島県厚生農業協同組合連合会　白河厚生総合病院	白河市	
25		塙厚生病院	塙町	
26		医療法人健恵会　ねもとキッズクリニック	白河市	
27		医療法人　わたなべ子どもクリニック	白河市	
28	会津	一般財団法人竹田健康財団　竹田綜合病院	会津若松市	
29		福島県厚生農業協同組合連合会　坂下厚生総合病院	会津坂下町	
30		医療法人　いとう子どもクリニック	会津若松市	
31		医療法人清信会　やまみこどもクリニック	会津若松市	
32	南会津	福島県立南会津病院	南会津町	
33	いわき	いわき市医療センター	いわき市	
34		子どもの家	いわき市	
35		第二子どもの家M・A・Y	いわき市	
36		あおぞらキッズクリニック	いわき市	
37		医療法人　森のこどもクリニック	いわき市	
38		医療法人　おおはらこどもクリニック	いわき市	

3）疾患情報登録協力医療機関　■は令和５年度協力医療機関

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	県北	一般財団法人　大原記念財団　大原綜合病院	福島市	福島本部事務所
2		公立大学法人　福島県立医科大学附属病院	福島市	
3		福島医療生活協同組合　医療生協わたり病院	福島市	
4		日本赤十字社　福島赤十字病院	福島市	
5		医療法人　湖山荘　あずま通りクリニック	福島市	
6		医療法人　慶愛会　文化通りやぎうちクリニック	福島市	
7		福島県中央児童相談所	福島市	
8		医療法人　いそめこどもクリニック	福島市	
9		いがらしキッズクリニック	福島市	
10		ほりこし心身クリニック	福島市	
11		すえなが内科小児科医院	福島市	
12		公立藤田総合病院	国見町	
13		こばやし子ども・内科クリニック	伊達市	
14		医療法人　湖山荘　福島松ヶ丘病院	伊達市	
15		医療法人　クラプトン　佐久間内科小児科医院	二本松市	
16		森小児科医院	二本松市	
17		医療法人　落合会　東北病院	本宮市	
18	相双	すぎやまこどもクリニック	相馬市	
19		公立相馬総合病院	相馬市	
20		公益財団法人　金森和心会　雲雀ケ丘病院	南相馬市	
21		ほりメンタルクリニック	南相馬市	
22	県中	公益財団法人　星総合病院	郡山市	郡山事務所
23		福島県総合療育センター	郡山市	
24		公益財団法人金森和心会　針生ヶ丘病院	郡山市	
25		一般財団法人　太田綜合病院附属　太田西ノ内病院	郡山市	
26		医療法人稔聖会　こおりやまほっとクリニック（閉院）	郡山市	
27		医療法人慈圭会　すがのクリニック	郡山市	
28		社会医療法人　あさかホスピタル	郡山市	
29		公益財団法人湯浅報恩会　寿泉堂綜合病院	郡山市	
30		一般財団法人太田綜合病院附属　太田熱海病院	郡山市	
31		一般財団法人脳神経疾患研究所附属　総合南東北病院	郡山市	
32		南東北医療クリニック	郡山市	
33		医療法人　わんぱくさいとうこども医院	郡山市	
34		医療法人明信会　今泉西病院	郡山市	
35		公立岩瀬病院	須賀川市	
36		独立行政法人国立病院機構　福島病院	須賀川市	
37	県南	福島県厚生農業協同組合連合会　白河厚生総合病院	白河市	
38		福島県立矢吹病院（現：福島県立ふくしま医療センターこころの杜）	矢吹町	
39	会津	公立大学法人福島県立医科大学　会津医療センター	会津若松市	
40		一般財団法人竹田健康財団　竹田綜合病院	会津若松市	
41		医療法人明精会　会津西病院	会津若松市	
42		一般財団法人温知会　会津中央病院	会津若松市	
43		医療法人昨雲会　飯塚病院	喜多方市	
44	いわき	公益財団法人磐城済世会　舞子浜病院	いわき市	
45		いわき市医療センター	いわき市	
46		医療法人　おおはらこどもクリニック	いわき市	
47	県外	公立昭和病院	東京都	福島本部事務所
48		生育医療研究センター	東京都	
49		順天堂大学医学部附属　練馬病院	東京都	
50		東京北医療センター	東京都	
51		山形大学医学部附属病院	山形県	
52		茨城県立こども病院	茨城県	
53		自治医科大学附属病院	栃木県	
54		新潟県立中央病院	新潟市	
55		仙台医療センター	宮城県	
56		仙台赤十字病院	宮城県	
57		東北大学病院	宮城県	
58		宮城県立こども病院	宮城県	

4) 学童期検査協力医療機関　■は令和５年度協力医療機関

	エリア	協力医療機関名	所在地	担当
1	県北	一般財団法人大原記念財団　大原綜合病院	福島市	福島本部事務所
2		日本赤十字社　福島赤十字病院	福島市	
3		公立藤田総合病院	国見町	
4		医療法人　いそめこどもクリニック	福島市	
5		医療法人　いちかわクリニック	福島市	
6		医療法人　おひさま子供クリニック	福島市	
7		医療法人社団真子会　すやま小児科	福島市	
8		きらり健康生活協同組合　とやのクリニック	福島市	
9		都小児科医院	福島市	
10	県中	一般財団法人太田綜合病院附属　太田西ノ内病院	郡山市	郡山事務所
11		公益財団法人　星総合病院	郡山市	
12		独立行政法人国立病院機構　福島病院	須賀川市	
13		医療法人はぐくみ　いいもり子ども医院	郡山市	
14		医療法人　かわなこどもクリニック	郡山市	
15		医療法人　久米こどもクリニック	郡山市	
16		医療法人英徳会　さかい小児科クリニック	郡山市	
17		医療法人喜信会　じんキッズクリニック	郡山市	
18		医療法人宣誠会　すみこしこどもクリニック	郡山市	
19		医療法人　渡辺美佳子こどもクリニック	郡山市	
20		医療法人　わんぱくさいとうこども医院	郡山市	
21		医療法人　東部台こどもクリニック	田村市	
22	県南	福島県厚生農業協同組合連合会　白河厚生総合病院	白河市	
23		医療法人健恵会　ねもとキッズクリニック	白河市	
24		医療法人　わたなべ子どもクリニック	白河市	
25		医療法人　みうら小児クリニック	白河市	
26		医療法人健恵会　にしごうキッズクリニック	西郷村	
27	会津	一般財団法人竹田健康財団　竹田綜合病院	会津若松市	
28		福島県厚生農業協同組合連合会　坂下厚生総合病院	会津坂下町	
29		医療法人清信会　やまみこどもクリニック	会津若松市	
30		扇町渡部小児科・アレルギー科医院	会津若松市	
31		医療法人社団大志会 矢吹医院	猪苗代町	
32	南会津	福島県立南会津病院	南会津町	
33	相双	公立相馬総合病院	相馬市	福島本部事務所
34		南相馬市立総合病院	南相馬市	
35		すぎやまこどもクリニック	相馬市	
36		医療法人彗生会　菜のはなこどもクリニック	相馬市	
37	いわき	いわき市医療センター	いわき市	郡山事務所
38		あおぞらキッズクリニック	いわき市	
39		医療法人　おおはらこどもクリニック	いわき市	
40		福田小児科医院	いわき市	

エコチル調査に係る業務全般に関する PDCA サイクルにおける取組状況
（令和５年４月～令和５年９月末時点）

調査実施機関名：福島ユニットセンター

評価時点	令和５年 10 月 31 日
回答者	氏名（　橋本　浩一　） 役職（　准教授／特任教授　ユニットセンター長　）

※計画実施欄の番号右側（　）内記号定義　K：Kaizen（計画拡充・改善）　N：New（新規計画）

ア．参加者の調査参加へのモチベーション維持や質問票回収率の維持・向上の取組	
（P）計画 （D）実施	従来の取組に加え、13 歳以降調査に向け参加児とのコミュニケーションの機会を増やし、深めることにより、子ども達のエコチル調査に対するポジティブな参加意識の形成を目指した。 **〇計画1(K)　参加者の調査参加へのモチベーション維持** 指標　現参加者の減少を年 1%以内とどめることができる（参加者数維持） **取組 1- 1(N) ｜ 13 歳以降調査継続に向けたオリジナル・エール集作成配付** 小学６年生児童へ向け、ユニットセンターからこれからも調査を通じて見守っていることを伝える応援メッセージを込めた、オリジナル・エール集「キミたちへ贈る言の葉」（図 1）を作成し、小学６年学年質問票へ同封した。 **取組 1-2(N) ｜ 13 歳以降調査継続同意率向上** より多くの方に 13 歳以降調査にご協力いただくため以下を計画実施した。 ■ **参加者ポータル・アカウント情報郵送時プレゼント同封**：参加者ポータル・アカウント情報受領率を高めるため、LED ライトを同封した。 ■ **返戻されたアカウント情報再送の工夫**：再送を２回実施した。郵送前に SMS にて郵便物発送のお知らせと受取りのお願いをし、また、自宅へ配達された際に受取りができるよう、到着が週末になる日程で発送した。 ■ **時間外電話相談日の設置**：平日夜間、土日昼間の時間帯に 10 日間設定し、日程のお知らせを小学６年学年質問票に同封して案内した。 **取組 1-3(K) ｜ふれあい会（参加者対象イベント）の開催（オンライン）** 今年度は、郡山女子大学家政学部と協同し、参加児の食 (栄養) への基本知識や興味が高まるよう、身近なお弁当作りのポイントやレシピ紹介動画（図 2）を作成し、７月から８月にかけて配信した。 参加者と双方向の交流充実を図り、1）弁当箱プレゼント（事前）、2）マイ弁当ワークシート（図 3）を募集し、提出した参加児へ、後日「栄養アドバイス」を返却した。また、マイ弁当フォトを募集し、ニューズレター等に掲載予定とした。 **取組 1-4(K) ｜環境セミナー（第６回）の開催（ハイブリッド）** 参加者親子と環境課題を学び合う機会として、近年は県内環境関連施設の専門家を講師に迎え継続開催している。今年度は、福島県環境創造センター交流棟（愛称：コミュタン福島）の協力により「SDGs 基礎編～クイズに答えながら楽しく SDGs を学ぼう～」をテーマに令和６年２月にハイブリッド形式で開催し、撮影した動画を配信予定である。

	取組 1-5(K) ｜子どもアンケート回答お礼メッセージ（媒体変更（図 4）） 子どもとのコミュニケーションの機会として、回答への感謝の気持ちを伝えるお礼メッセージをグリーティングカードに変更し送付した。参加児氏名は他ユニットセンター取組を参考に職員が心を込めて手書している。 **取組 1-6(K) ｜詳細調査精神神経発達検査後、児の発達に関して継続した相談を希望する保護者へ自治体担当窓口を紹介する体制構築** 詳細調査発達検査時に保護者からの生活・学習への相談に対応するため、県内全市町村教育委員会相談窓口及び担当者を聴取し相談体制を構築した。 **〇計画2(K)　質問票返送率の維持・向上** 指標　県内全域での対面調査実施と並行して、質問票業務を計画通り実施し、返送率を現状維持・向上することができる **取組 2-1(K) ｜返送方法の工夫 (学年質問票)** 発送後 6 か月以内の返送数が増えるよう、返送依頼時期を早めた。 **1 回目　「型抜きポストカード」発送**：全学年発送後 12 月頃（冬休み期間）に一括で実施していたが、学年毎発送後から 1 か月目に変更した。 **2 回目　質問票再送**：例年 2 月前後に一括で実施していたが、学年毎発送後 2 か月目に変更した。 **取組 2-2(K) ｜質問票郵送封筒リニューアル（図 5）** 開封率向上をねらい、刃物を使わず開封可能なミシン目加工で質問票郵送封筒を作成し、9 月より使用した。参加児が楽しみながら関心を持てるよう、デザインを「さすけねぇ（問題ない）」等福島の方言クイズと県地図迷路にした。 **取組 2-4(K) ｜参加児間コミュニケーション創出 (紙巻鉛筆セット進呈)** 質問票封筒開封率向上に加え、同じグッズを所持することにより、学校等で参加児同士のコミュニケーションが深まり、調査参加意識が醸成されることを期待し、学年質問票発送時に全参加児へ実用的かつ昔懐かしい紙巻鉛筆 2 本セット（図 6）を封入し進呈した。 **取組 2-5(K) ｜年齢質問票返送キャンペーン「カスタマイズボールペン」** 今年度開始した 12 歳年齢質問票（食事調査票あり分量が多い）返送率向上のため、1）質問票発送時に 5 色芯ボールペンホルダーと赤黒リフィル芯 2 本を進呈し、2）質問票返送時、リフィル芯 3 本の色希望用紙を同封、3）希望色 3 本を進呈し、カスタマイズボールペンを完成させるキャンペーンを開始した（図 7）。
（C）評価	**〇計画1　参加者の調査参加へのモチベーション維持** 上半期実施分ほぼ達成　取組により、参加者ポータル・アカウント情報受領率は、98.9%であった。アカウント情報が届いていない方への対応を検討する。 「親子でチャレンジ マイ弁当つくろう!」動画総閲覧数は 500 回以上であった。アンケートでは「栄養バランスを考えて、お弁当を作るのが難しかった」「子どもが自分で料理をする機会がないので、良かった」等の感想を得た。マイ弁当フォトへの応募もあり（図3）、双方向のコミュニケーションとなったと考えられる。 子どもアンケート回答お礼グリーティングカード送付後、「飛び出すカードで何度も開いて楽しみました」「机に飾っています」等メッセージが寄せられた。

	詳細調査時、子どもの心配事相談希望者への自治体等相談窓口紹介により、ニーズを持つ住民を行政の枠組みへとつなぐ体制が構築できた。 9 月末時点の子ども現参加者数は 11,879 人、現参加率（転出入調整）は、93.1%（前年度同月末から 0.4%減少）であり、目標を達成できた（表1）。また、13 歳以降調査同意率は 38.2%であった（令和 5 年 10 月 20 日時点）。 取組は、参加児のモチベーション向上、保護者の参加意欲向上につながったと考えられたが、13 歳以降調査継続につながるよう強化が必要と考える。 ○計画2　質問票返送率の維持・向上 上半期実施分一部達成、経過観察　参加者から封筒について「方言が分からず、お母さんに聞いた」、紙巻鉛筆について「子どもが使って喜んでいます」、「クラスで話題になっています。」などの感想が寄せられた。 学年質問票返送率については、現時点で発送開始後 3 か月以上経過している 2013 年度群では、昨年度に比べ返送率が維持されている傾向があるが、2011 年度群は伸び悩んでいる（図 8）。 12 歳質問票返送率から、現時点ではキャンペーンの効果が現れていると考えた（図 9）。
（A）改善	**○計画1　参加者の調査参加へのモチベーション維持** 13 歳調査協力同意は今後他ユニットセンター取組事例等を参考に、次年度計画を検討する。下半期の計画を予定通り実施し評価する。 **○計画2　質問票返送率の維持・向上** 取組開始後の返送率は、発送後 6 か月未満のモニタリング期間が短い暫定的なデータに基づく評価である。さらに次年度計画検討及び年度末評価を実施する。今後もアンケートや対面調査の機会に参加親子に取組への意見、感想を聴き、事業評価の参考とする。

イ．成果の社会還元の取組	
（P）計画 （D）実施	「次世代の子どもが健やかに育つ環境の実現」（上位目標）に向け、エコチル調査は、成果を積極的に社会還元することが期待されている。 調査実施機関として着実な調査実施とともに、調査フェーズ（「エコチル調査広報戦略指針」より）に沿い、参加者をはじめ福島県民へエコチル調査継続の周知及び現時点での成果を広く社会へ還元することを目指した。 **○計画 1(K) 学術分野における成果還元** 指標　中心仮説を含む積極的な論文発表ができる **取組 1-1(K) ｜全学の研究活性化を通じた学術論文発表促進** 全学での学術成果発表促進のため、学術ワーキンググループ（以下、WG）を運営し、定例勉強会（毎月）・学内査読・研究相談等を実施した。令和 5 年 5 月コアセンターより中心仮説執筆希望調査があり、複数の課題を申請し調整後リスト掲載された課題は 13 題であった。 エコチル調査延長に伴い将来にわたり全学から WG への研究者の参加が重要と考え、全教職員対象一斉メール配信ではエコチル調査論文紹介（月 1 回）に加え調査期間延長、研究協力の呼びかけを行った。

取組 1-2(K) ｜学術の発展・教育活動を通じた人材育成への貢献

エコチル調査の成果等（成果発表届出対象）を含む、学会発表 2 件、学会シンポジウム講演 1 件、総説寄稿 3 件を行った。

〇計画 2(K) 参加者及び県民の環境・健康への関心が高まる成果共有

指標	1) 参加者・県民へ調査継続及び成果の周知機会を持つ 2) 環境・健康への関心へつながる取組を実施し、高い（80% 以上）満足度（「よかった」、「楽しかった」など）を得る（2-1・2-2）

取組 2-1(K) ｜参加児含む県民の調査認知度を高めるイベント・動画配信

昨年度はローカル・インフルエンサーの協力を得て動画を作成、配信した。これまでの動画よりも視聴回数が多く、認知度向上につながったと考えられた。

感染症対策の緩和により、対面で継続した体験・学びにつながる企画を検討し、今後数年間は県内各地域資源を活用してイベントを開催することとした。

令和 5 年度は、環境水族館アクアマリンふくしまと共催のイベントとし（下記）、親子の水族館入場券付で募集した（図 10）。動画は 10 月末配信した。

■ **第一部**／センター長による「エコチル調査でわかってきたこと」の紹介

■ **第二部**／水族館職員による見どころ紹介、海洋生物やそのはく製に触れるワークショップ（生物にとってよりよい環境について学び考える機会）

取組 2-2(U) ｜研究成果還元資料の作成・配付

「エコチル調査からわかってきたこと　エコチル★ふくしま版」（A4 サイズ 1 枚両面（小学校のお知らせ仕様））第 3 号を 11 月発行予定とし、参加者へはニューズレターに同封し配付する（図 11）。一般向けにホームページへ掲載する。

取組 2-3(K) ｜県民（一般）との成果共有、調査に対する理解の醸成

■ **自治体等主催イベントへのブース出展:**郡山市こどもまつり（5 月）、地域健康イベント（12 月）の計 2 イベントに出展し、調査や成果を周知する。

■ **広報ポスター第 3 版（図 12）作成**：内容を一般向けから子ども向けに更新し、これまでの配布先に加え県内全小学校へ配付した。

〇計画 3(K) 県内学校保健・教育分野との連携強化

指標	学校保健・教育分野の地域運営協議会委員と調査の円滑な実施や成果還元において連携が強化できる

取組 3-1(N) ｜中学校教育関係者との関係構築

次年度より参加児の中学校入学が始まることから、中学校教育関係者との連携が必要と考え、下半期に県中学校校長会長を訪問、及び、中核市中学校校長会においてエコチル調査について説明する機会を持つことを計画した。

取組 3-2(K) ｜質問票回答集計結果資料掲載データ活用に向けた準備

昨年度作成した質問票回答集計結果小冊子（以下、小冊子）（図 13）を参加者、関係者のほか、県内全小学校へ配付し、集計結果データは利用可能と申し添えた。データ提供用に各図表の画像（jpeg/png 形式）ファイルを作成した。

（C）評価	**〇計画 1　学術分野における成果の還元** 当初予定より大きな結果が得られた　学術 WG 構成員は、全学より 14 講座等から 68 名を登録した（新規 2 名参加）。上半期受理された論文は 8 編（前年と同様）であった（図 14）。追加調査研究により、1 名が博士号を取得した。 中心仮説執筆予定課題が 13 題追加となり指標達成に近づいた。一方、データ利用者のおよそ 3 分の 1 が課題申請に至らない状況があった。 社会還元として、「産婦人科診療ガイドライン－産科編 2023」クリニカル・クエスチョン回答に関係者の執筆論文が引用文献の 1 つとして採用された。 **〇計画 2　参加者及び県民の環境・健康への関心が高まる成果共有** 上半期実施分ほぼ達成　2-1　サマースクールには、応募者多数で抽選し、小学生親子 39 組 101 名が参加した。アンケートでは、イベントに対して 90% 以上の親子から「楽しかったと」回答があった。また、複数の子どもから「エコチル調査を知らなかった」と回答があり、周知する機会となった。下半期計画を予定通り実施する。 **〇計画 3　県内学校保健・教育分野との連携強化** 上半期ほぼ達成　計画を実施したが、これまでに小冊子データ利用問合せはなかった。下半期は、中学校教育関係者への説明を計画通り進める。
（A）改善	**〇計画 1　学術分野における成果の還元** 固定データ用いた成果発表促進のため、執筆課題未申請の WG 構成員希望者を対象とした固定データからの解析データセット作成相談体制を構築する。 **〇計画2　参加者及び県民の環境・健康への関心が高まる成果共有** 13 歳以降調査継続につながるよう、参加児を含む県民にエコチル調査継続について周知、理解いただく取組を企画する。 **〇計画 3　県内学校保健・教育分野との連携強化** 次年度は県内7地域の中学校校長会会長に調査についてご理解いただき、地域運営協議会へ参画いただけるよう働きかける。

福島ユニットセンター PDCA サイクルにおける取組状況　参考資料

図 1　オリジナル・エール集「キミたちへ贈る言の葉」

名言や心に響く言葉からユニットセンター職員が小学 6 年生に届けたいメッセージを選んだ。

挿絵はイラストレーターに、エール集の主旨を伝え依頼した

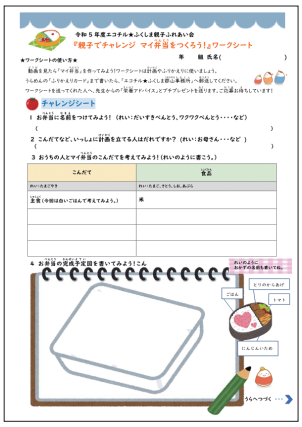
図 2　ふれあい会「親子でチャレンジ マイ弁当をつくろう !」1　動画配信

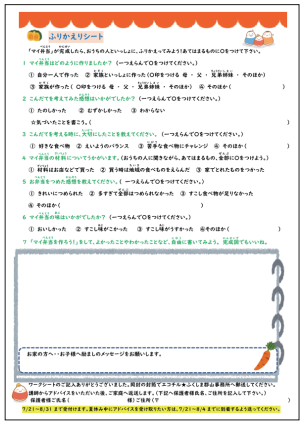
レシピ紹介（図は「カレー味たま」の材料）

（動画配信）エコチルふくしまチャンネル
https://www.youtube.com/watch?v=7bgdNJdmEJY

図 3　ふれあい会「親子でチャレンジ マイ弁当をつくろう !」2
マイ弁当ワークシート（様式）と応募いただいたマイ弁当フォト

マイ弁当ワークシート（様式）





応募いただいたマイ弁当フォト

スーパー弁当

祖父母が育てた野菜たっぷり弁当

パピプ弁当

図４　子どもアンケート回答へのお礼 グリーティングカード（はがきから変更）

イラストが飛び出て、立てて飾れる仕様

図５　リニューアルした質問票発送用封筒

クイズ・迷路の答えは、ユニットセンター　キッズページ（ホームページ）に掲載
エコチル★ふくしま　キッズページ
https://www.ecochil-fukushima.jp/kids/k_make/

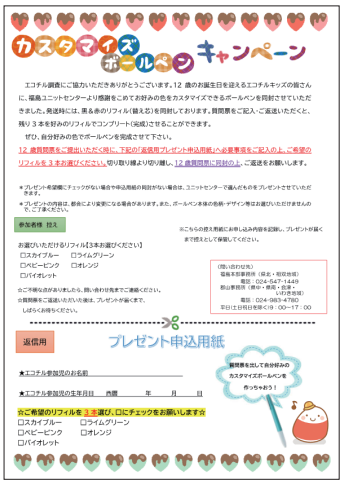
図６　「紙巻鉛筆青・赤」セット
（学年質問票郵送封筒に封入して進呈）

親子のコミュニケーションも生まれることを期待

図７　カスタマイズボールペンキャンペーン（12 歳質問票）

①
12 歳質問票郵送時、５色芯が入るボールペンホルダーと黒赤２色のリフィル芯を封入して進呈

②
12 歳質問票返送時、自分の好みのリフィル芯色を記入し、申込用紙を返送



リフィル芯の色は、スカイブルー、ライムグリーン、ベビーピンク、オレンジ、バイオレットの５色から選択

③
希望色のリフィル芯３本を進呈

届いたリフィル芯を入れたらカスタマイズボールペンの完成

表１　子ども現参加者数（令和４年９月末時点、令和５年９月末時点）

対象者	転出	転入	本人死亡	代諾者消失	住所不明	その他	現参加者数	現参加率（転出入調整）
令和４年９月末時点	220	143	24	733	61	10	11.958	93.5%
令和５年９月末時点	230	144	25	780	65	13	11.897	93.1%

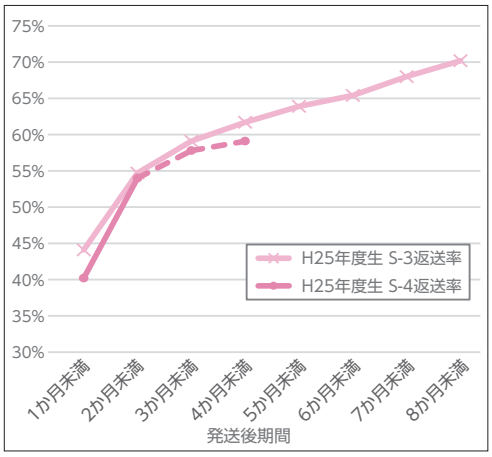
令和５年９月30日時点での福島ユニットセンターのデータに基づき集計した暫定的な数値です

図８　令和５年度学年質問票返送状況

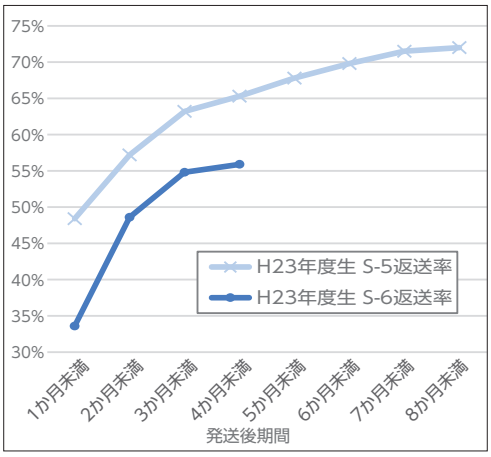
令和５年10月20日時点

・対象　平成23年度生まれ、平成25年度生まれの参加児（学年質問票発送後１か月以上経過した群）
・対象群の現時点での今年度発送した学年質問票と昨年度発送した学年質問票の返送率を確認した。
※　破線は、集計時点で発送後２カ月以上経過していない事例があるため暫定値を表す。

平成25年度生まれ(R5_小学４年、R4_小学３年)



平成23年度生まれ(R5_小学６年、R4_小学５年)



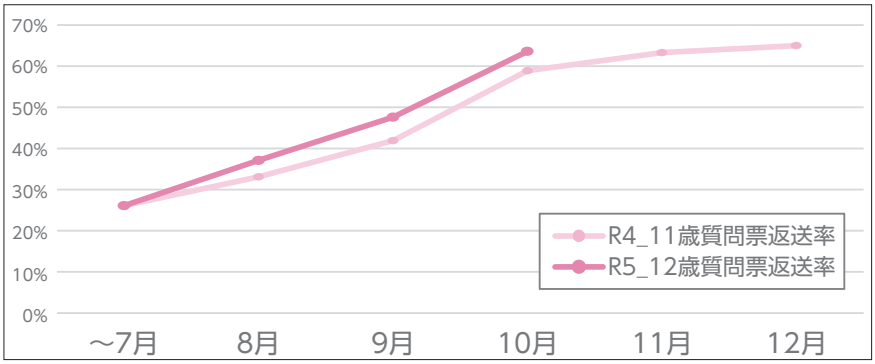
令和５年10月20日時点での福島ユニットセンターのデータに基づき集計した暫定的な数値です

平成25年度生まれ群では、小学４年質問票発送後２か月未満時点で昨年度発送した小学３年質問票返送率とほぼ同じとなった。発送後２か月目のリマインドの効果が期待できる。
平成23年度生まれ群では、小学５年質問票返送率は、昨年度発送した小学５年質問票返送率を下回り、リマインドを２か月目に早めた効果は確認できなかった。
令和５年度はモニタリング期間が短いため引き続き経過を確認する。

図９　６月から９月までに12歳質問票を発送した群の11歳と12歳質問票返送状況

令和５年10月20日時点

・対象　平成23年７月～10月生まれ参加児のうち９月末までに質問票を発送した参加者
・９月末までに11歳質問票発送数　360件発送、12歳質問票発送数　359件発送
・月ごとの累積発送数と累積返送数から返送率を算出した。



令和５年10月20日時点での福島ユニットセンターのデータに基づき集計した暫定的な数値です

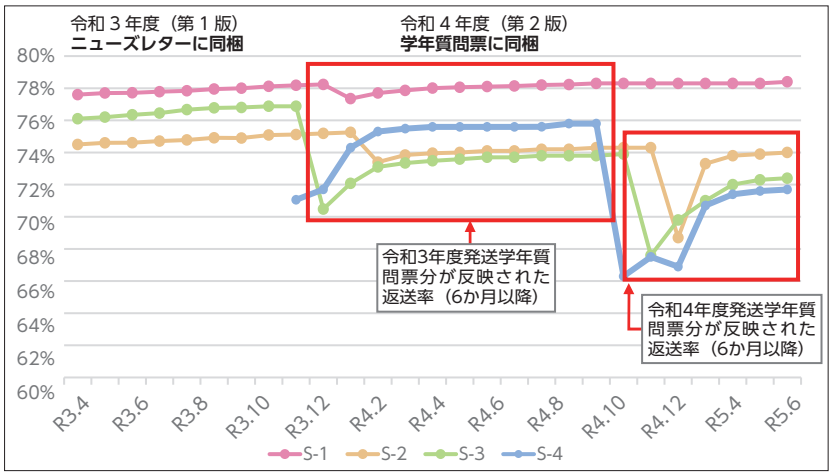
現時点でほぼ同じ群において、12歳質問票返送率は11歳質問票返送率より向上している傾向が見られた。しかし、令和５年度はモニタリング期間が短いため引き続き経過を確認する。

図 10　サマースクール

タッチプールで海の生き物を観察

（動画配信）エコチルふくしまチャンネル
https://www.youtube.com/watch?v=t2RPDMQ06Xk

図 11　成果還元資料の配付方法と学年質問票返送率（発送後 6 か月以上）の推移　令和 5 年 10 月 20 日時点



第 129 回～第 155 回ユニットセンター実務担当者 WEB 会議資料をもとに作成

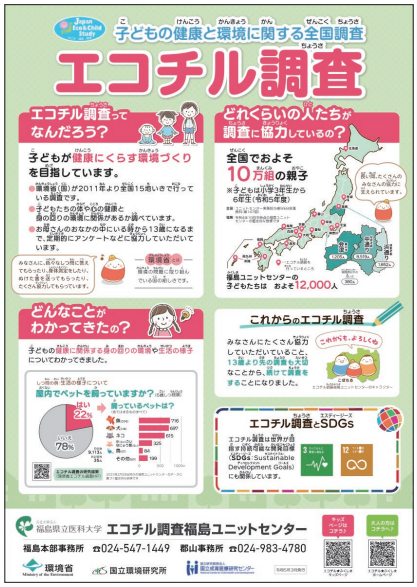
令和 4 年度

質問票返送率向上の意図も追加し、資料は学年質問票に同梱に変更した。

令和 5 年度

6 月学年質問票返送率を確認したところ前年より下回っており効果が確認できなかった。令和 5 年度は配付方法を見直し、「ニューズレター同梱」に戻し配付する。

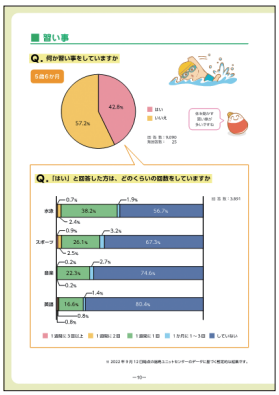
図 12　広報ポスター（第 3 版）



小学校や自治体、地域医療機関に掲示していただくことを期待し、A3 サイズで作成。

図 13　小冊子

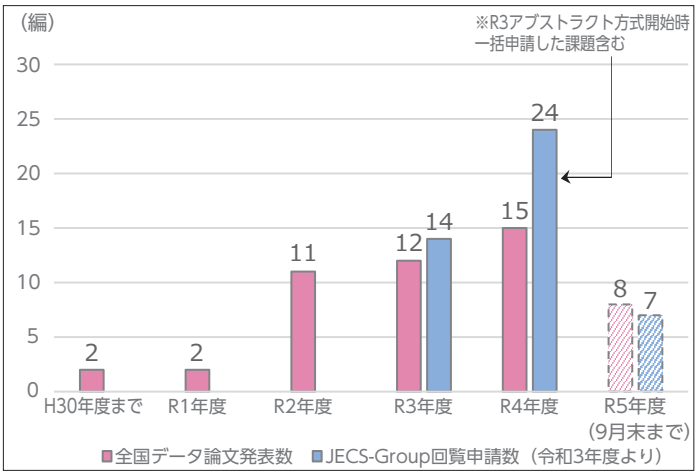
表紙



質問票集計結果（抜粋）

図 14　福島ユニットセンター　成果発表状況

令和 5 年 10 月 20 日時点



令和 5 年 10 月 20 日時点での福島ユニットセンターのデータに基づき集計した暫定的な数値です

ニューズレターの発行

2023 年秋・冬号（令和 5 年 11 月発行）

発行／エコチル調査福島ユニットセンター

No.38

エコチル★ふくしま

こぼちる通信

2023年秋・冬号

せな☆さん　姉妹でフラダンスに夢中！練習頑張るぞ！

個人情報保護のため画像処理をして掲載しております

りょーてぃさん　計算に夢中です。算数が楽しい！

個人情報保護のため画像処理をして掲載しております

じょんさん　キャンプに夢中

個人情報保護のため画像処理をして掲載しております

〇〇に夢中!!
フォトコーナー

たつさん　朝から夜までサッカーに夢中です

個人情報保護のため画像処理をして掲載しております

個人情報保護のため画像処理をして掲載しております

ミジュ♪さん　小学生ですが、ボクシングに夢中です！目指せオリンピック！

〇〇に夢中！！フォトは、まだまだ募集中です。

掲載された方には、500円分のクオカードをプレゼント！
夢中になっているもの（こと）ぜひお写真で教えてくださいね。

Topics

- 遊んで！学んで！エコチル★キッズ！ ★静電気について聞いてみました
- 現在6年生の参加者の皆さまへ ★【重要】nanacoカードに関するお知らせ
- 親子でチャレンジ　マイ弁当を作ろう！ ★マイ弁当フォトが届きました
- 13歳以降調査 ★13歳以降調査お子さまのアカウント情報をお届けします!!
- おしえて先生！あんなこと、こんなこと ★思春期・青年期の不登校について
- 学童期検査(小学6年生) ★今年度の検査は、来年3月まで実施します

Japan Eco&Child Study　エコチル調査

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

思春期・青年期の不登校について

医療法人杏和会　阪南病院
児童精神科医　吉川　陽子 先生

Q：思春期・青年期の不登校にはどのように対応すればよいでしょうか？

A：思春期・青年期は、10 歳ころから 20 歳ころまでを指し、心理的には社会や学校・仲間集団・家族からの影響を受けながら「自分は自分であるという感覚（アイデンティティー）を獲得」し、自立に向けて成長する時期にあたります。そのため、不安やイライラ感、自尊心と劣等感などを抱きやすい時期ともいえるでしょう。学校生活では学習面は難化し、対人関係も複雑になっていくことから、うまく適応できずにこの時期に不登校になるお子さんもいます。

「学校に行きたくない」と言われると迷うものです。「休ませていいのか？」「このまま行かないとますます行けなくなる」と焦りも出て、叱責してしまうこともあるかもしれません。

しかし、ここは焦らずに、まずは子どものタイミングを大事にしながら状況理解に努めたいものです。キーワードは「安心・安全」です。安心できる環境を準備した上で、「どうして学校に行きたくないのか？」を丁寧に理解していく必要があります。子どもの好きなことを大切にし、それを交えながら話しをしていくのもよいかもしれません。

不登校の理由や子どもの状態にもよりますが、「居場所（仲間）」と「相談先」の確保は意識しておくとよいでしょう。過ごしやすい学習場所や人を軸に環境を整えることは大切です。不安や不眠、気分の落ち込み、発達のかたよりなどが気になる場合は、医療機関も利用するとよいでしょう。

目指すところは、日々悩みながらも、健康に生活を楽しめることです。思春期・青年期だからこそ、試行錯誤し自分にあった道を見つけていきたいものです。自立のために大切なことは、自分でできることとできないことを判断できる力や自己決定力、できないことについては他の人に援助を求める相談力といえるかもしれません。

お知らせ

第6回エコチル★ふくしま環境セミナーを開催します！

日　時：2024年2月4日(日) 13:30～15:00まで
会　場：コミュタン福島(三春町深作10-2)
テーマ：SDGs～クイズに答えながら楽しくSDGsを学ぼう～

申込方法や詳しい内容は同封のチラシ、またはエコチル★ふくしまホームページをご覧ください。

コミュタン福島

エコチル★ふくしまサマースクール in アクアマリンふくしま

8月21日(月)にアクアマリンふくしまで開催しました、エコチル★ふくしまサマースクールの動画ができました！
10月23日(月)より公開しております。ぜひチェックしてくださいね。

公式YouTubeチャンネルはコチラ▲

2024年エコチルカレンダーが完成しました！

身長・体重を書き込める「成長記録メモ」や、エコチル調査からのお知らせ、エコチル★ふくしまnanacoカードのご利用方法などを掲載しております。ぜひご活用ください♪♪

2024 CALENDAR

調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先
エコチル調査コールセンター（全国共通）
0120-535-252
年中無休｜9：00～22：00｜

エコチル調査福島ユニットセンターへのお問い合わせ先　平日（土・日・祝日を除く）｜9：00～17：00｜
・福島本部事務所（県北・相双地域）
TEL. 024-547-1449
〒960-1295 福島市光が丘1番地（福島県立医科大学内）
・郡山事務所（県中・県南・会津・いわき地域）
TEL. 024-983-4780
〒963-8025 郡山市桑野1丁目21番17号 桑野共栄ビル2階

環境省　国立環境研究所　国立成育医療研究センター　福島県立医科大学

オフィシャルWEBサイト　https://www.ecochil-fukushima.jp/　エコチル ふくしま

こぼちる通信　　2023年秋・冬号

遊んで！学んで！エコチル★キッズ！ VOL.7

静電気について聞いてみました

お話しを聞いた方　ムシテックワールド

静電気とは？

物質は何らかの作用を受けると電気を帯びます。冬は空気が乾燥し、空気中の水分が少なくなるため、体内に溜まった電気が空気中に流れにくくなり、静電気を感じやすくなります。雷も静電気の一種です。

静電気の仕組みについて

静電気は、物と物がこすれるとできる電気のことで、「摩擦電気」とも呼ばれます。目には見えません。静電気にはプラスとマイナスがあり、何と何がこすれるかによって、プラスかマイナスかが決まります。

帯電列
プラスの電気になりやすい ← → マイナスの電気になりやすい

人毛・毛皮、ガラス、羊毛、ナイロン、レーヨン、鉛、絹、木綿、麻、人の皮膚、ガラス繊維、アセテート、亜鉛、アルミニウム、紙、鉄、銅、ニッケル、ゴム、ポリプロピレン、ポリエステル、アクリル、ポリエチレン、セルロイド、塩化ビニル

静電気ってどういう時に起こりやすいの？どうしたら防げるの？

静電気は物がこすれる時（摩擦）に起きます。それを防ぐには物の摩擦を防ぐことですが、実際はそうはいきません。体内に静電気が溜まってしまったら、金属のドアノブに触る前に、壁に触るなどして、体内の静電気を逃がしてあげると感電しにくくなります。

▲壁にさわって静電気を逃がしてあげよう！

静電気と電気の違いは？

静電気も電気も、大きなまとまりとしては同じ「電気」です。私たちがふだん言葉にする「電気」は「動電気」といい、導線の中を流れます。
対して「静電気」はその場に留まって流れない電気のことを言います。

▲静電気で逆立つかみの毛

＼ムシテックワールドでお待ちしています！／

ムシテックワールドでは、静電気の実験ができます。その他、生き物展示、自然体験、工作、科学実験などのプログラムがたくさん！スタッフみんなで待っています！

公益財団法人 ふくしま科学振興協会　ムシテック
〒962-0728　福島県須賀川市虹の台 100
電話 0248-89-1120　開館時間 9:00～16:30　最終入館は16:00まで（電話予約もこの時間内にお願いします）

重要　現在6年生の参加者の皆さまへ nanacoポイント付与とサポート終了のお知らせ

エコチル調査の質問票調査は、13歳（中学生）以降、紙の質問票からweb質問票に変更され、同時に謝礼のお渡し方法がnanacoポイントから「選べるe-ギフト」に変更となります。

これに合わせて当ユニットセンターでは、**「エコチル★ふくしまnanacoカード」へのnanacoポイントの付与とカード紛失・読み取り不良等へのサポート業務を小学6年の3月末で終了します。**

nanacoポイントには有効期限がありますので、電子マネー（残高）への早期の交換・利用をお願いします。

❶対象者　現在の小学6年生
❷終了時期　令和6年3月31日　※ご兄弟でエコチル調査に参加し、カードを共用している場合は、下のお子さまの小学6年3月末

注）質問票の返送時期が令和6年3月以降の場合、謝礼はギフトカードでのお渡しで対応します。

詳しくは、エコチル★ふくしまホームページをご覧ください。

学童期検査(小学6年生)の血液検査ではアレルギーなどの結果をお返しできます！

学童期検査とは…
1.血液検査　2.身体計測とパソコンで行う検査 があり、2日に分けて行います。どちらか一方のご協力でも構いません。

	県北・相双地区	その他の地区
血液検査	令和6年3月まで各医療機関にて実施。WEB予約サイトにて日程をご確認願います。	スタッフによる日程調整 ※ユニットセンターにお問合せください。
身体測定 CAT検査	令和6年3月16日(土)・17日(日) 会場:ラコパふくしま ※都合により日程変更しました。	

検査にまだご協力いただいていない方へ、1月頃に案内をお送りしますので、ご都合が合いましたらご協力お願いします。
ご予約は、お電話でも受付ております。
皆さまのご参加お待ちしております！

詳しくはコチラから▲

一人一人のご協力が子どもたちの未来へとつながっている大切な検査です。

13歳以降調査 お子さまのアカウント情報をお届けします!!

12月上旬より、13歳以降調査へ同意いただいた方へ「お子さまのアカウント情報」&「謝礼」を簡易書留にてお届けいたします。必ずお受け取りください。

※エコチル調査専用アプリにて継続の同意がお済でない方は、ぜひ調査継続へのご協力をお願いいたします。これからも皆さまとご一緒できることを願っております。

資料の紛失やご不明な点がありましたらお問い合わせください。エコチル★ふくしまのホームページでも詳しく説明しておりますので、二次元コードよりご確認ください。

エコチル★ふくしまホームページの13歳以降調査ページはこちら▶

エコチル★ふくしま 親子ふれあい会のお知らせ

7/21より、エコチル★ふくしまホームページで「親子でチャレンジ マイ弁当をつくろう！」の動画配信がはじまりました。エコチルキッズのみなさんより、「マイ弁当フォト」が届きましたので、ご紹介いたします。

また、たくさんの方にお弁当作りの準備やふりかえり用紙にまとめた「ワークシート」を送っていただきました。ありがとうございました。

マイ弁当フォトは、エコチル★ふくしまホームページにも掲載いたします。動画は公式YouTubeチャンネルでいつでも、お好きな時にご視聴することができます。ぜひご覧ください。

エコチル★ふくしまに寄せられた感想やお家の方のメッセージ

- 小学生はどれくらい食べなければならないのか、知りました。次はお父さんの弁当つくりに、学んだことを役立てたい。
- 最後まで予定通り作ることができて、がんばりました。
- 自分でつくってみると大変なことが分かりました。ありがとう。
- いつもきれいに食べてくれてありがとう。

2024 年春号 (令和 6 年 3 月発行)

発行／エコチル調査福島ユニットセンター

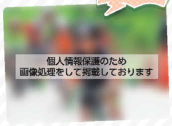
No.39

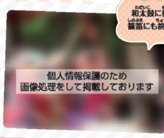
エコチル★ふくしま

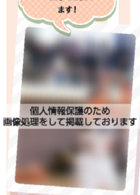
こぼちる通信

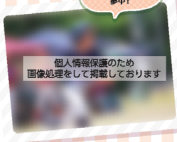
2024年春号

〇〇に夢中!!フォトコーナー









「〇〇に夢中！！フォト」募集継続決定!!

今年度、本当にたくさんのご応募をいただきましたので、来年度も募集の継続を決定しました 😊
掲載された方には、クオカード500円をプレゼントします。
ぜひみなさんの夢中なもの・こと教えてくださいね。

Topics

遊んで！学んで！エコチル★キッズ！
★ふくしまの歴史について聞いてみました

全体調査よりお知らせ
★令和6年4月からWeb質問票が始まります

エコチル★ふくしま 親子ふれあい会からのお知らせ
★蒔絵体験にチャレンジ

学童期検査のご案内
★新小学6年生の学童期検査が始まります

おしえて先生！あんなこと、こんなこと
★思春期の体の変化について

nanacoカードのお知らせ
★ポイントの有効期限があります

Japan Eco&Child Study
エコチル調査

おしえて先生！あんなこと、こんなこと

思春期の体の変化について

大原綜合病院 小児科 鈴木 重雄 先生

Q：思春期の体の変化について教えて下さい

A：思春期とは、子どもが大人へと成長、成熟する時期のことです。体つきが大きく変化するので、その点についてお話しします。

女の子は9才を過ぎる頃から胸がふくらみ始め（思春期の始まりです）、陰毛がうっすらと生え、そして 12 才半前後で生理が始まり（初潮）、全体的に丸みを帯びた体型になっていきます。

男の子の場合、11才頃から陰茎や精巣が大きくなり（思春期の始まり、とされます）、12才過ぎに陰毛が生え、そしていつの間にか低い声になり（声変わり:13才頃）、ヒゲが生えてゴッツい体型になっていきます。身長が急激に伸びるのもこの時期の特徴のひとつで、男の子も女の子も食欲旺盛で、あっと言う間に服が着られなくなります。一般的に思春期の間に男の子は 30cm、女の子も 25cm 程度、身長が伸びるとされます。

なお、思春期が始まる年齢には個人差がありますが、2年以上、その時期がずれている場合（早い～遅い場合）は小児科医や保健の先生に相談しましょう。

始まりの時期に男女差があるのも思春期です。小学校5-6年は女の子の方が身長が大きいことがありますが、これは女の子が2年ほど早く思春期を迎えて身長が伸びるためです。年子の兄、妹など、ある時期、妹の方が身長が高くなることもあります。しかし中学生になると今度は男の子が大きくなります。女の子は中学生になると身長があまり伸びなくなりますが、思春期が早く始まると、終わるのも早いためです。成熟する、と言う事は、体の成長が止まることでもあります。

以上のような体の変化は、思春期に分泌が増える性ホルモンの働きによります。男性ホルモンと女性ホルモンにより、成熟した大人になるのです。なお性ホルモンは外面、体つきだけでなく、内面、心にも影響を与えます。体内のホルモン量の変化により心身の不調を訴えることもあります。心身ともに健全な、成熟した大人になるための試練の時期、なのかもしれません。

お知らせ

転居ご予定の方へ

この春、お引越しされるご予定のある方は、ユニットセンターまでご連絡をお願いいたします。

nanacoカードのお知らせ

2024年3月末にポイントの有効期限が切れてしまうものがあります！
お早めに電子マネーに交換してください！

現在小学6年生の参加者の皆さまへ
2月に郵送した「nanacoポイント付与とサポート業務終了」のお知らせハガキをご確認ください。
詳しくはエコチル★ふくしまホームページをご覧ください。

第6回 エコチル★ふくしま環境セミナー

2月4日(日)にコミュタン福島で行いました、第6回環境セミナーの動画ができました！
3月11日(月)より公開中です。ぜひチェックしてみてください。

詳しい情報はこちら

■調査の一般的な内容に関するお問い合わせ先
▶エコチル調査コールセンター（全国共通）
0120-535-252
年中無休｜ 9：00～22：00 ｜

■エコチル調査福島ユニットセンターへのお問い合わせ先 平日（土・日・祝日を除く）｜ 9：00～17：00 ｜
・福島本部事務所（県北・相双地域）
TEL. 024-547-1449
〒960-1295 福島市光が丘1番地（福島県立医科大学内）
・郡山事務所（県中・県南・会津・いわき地域）
TEL. 024-983-4780
〒963-8025 郡山市桑野1丁目21番17号 桑野共栄ビル2階

環境省 国立環境研究所 国立成育医療研究センター 福島県立医科大学

オフィシャルWEBサイト https://www.ecochil-fukushima.jp/ エコチル ふくしま

遊んで！学んで！エコチル★キッズ！ VOL.8

ふくしまの歴史について聞いてみました

お話しを聞いた方 福島県立博物館

Fukushima Museum

ふくしまに人が住みはじめたころ

旧石器時代（約 30,000 年前から約 12,000 年前）

このころの人々は、石の道具を用いて、食料となるナウマンゾウやオオツノジカなどの狩りをしながら移動生活を送っていました。

この時代の遺跡からは、焼いた石を用いて肉を調理した跡が見つかっています。

▲肉を調理した跡 塩坪遺跡（喜多方市）

旧石器時代は寒く、最も寒い時期には、福島県内の気温が現在の北海道と同じぐらいだったと考えられています。

むらのはじまり

縄文時代（約 12,000 年前～約 2,500 年前）

▲縄文時代の家 塩沢上原A遺跡（二本松市）

このころの人々は、たて穴住居という家に住み、水が利用できる日当たりのよい場所にむらをつくって定住するようになりました。

山では、ドングリやクルミなどを集め、弓矢でシカやイノシシなどの動物を狩り、海や川では魚や貝をとって生活していました。

このころに土器が発明され、いろいろな食料を煮て食べられるようになりました。

米づくりのはじまり

弥生時代（約 2,500 年前～約 1,800 年前）

▲稲刈りのようす

約2,500年前、中国・朝鮮半島から九州地方北部に米づくりの方法が伝わり、やがてふくしまでも米づくりが行われるようになりました。

人々は水田で米をつくり、秋には石包丁という道具を使って稲刈りをしました。

このころは木製の杵や臼などの道具を使って脱穀し、玄米にしたものを土器で煮て食べていました。

小さなくに、大きなお墓

古墳時代（約 1,800 ～約 1,400 年前）

米作りを教えたり、作物を守ったりするリーダーが王さまになり、むらが集まって小さな「くに」ができます。ふくしまにも各地に王さまが現れました。

王さまが亡くなると、大きなお墓がつくられます。これが古墳です。

▼原山1号墳（泉崎村）のはにわ

「はにわ」には、王さまのお墓を守る役目があったと考えられています。

いくさの時代

平安時代～安土桃山時代（約 1,200 ～約 420 年前）

土地をめぐる争いが多くなると、人びとは武器を持って自分の土地を守るために戦うようになります。武士のはじまりです。

武士はいくさを有利に戦うために、仲間や家来をふやして大名となり、広い領地を治めるようになりました。それでも、いくさが無くなるには長い時間がかかりました。

▲阿津賀志山の戦い（国見町）の模型

やがて幕府がつくられると、争いごとを話し合いや裁判で決めるようになっていきます。

平和なくらし

江戸時代（約 400 年前～約 150 年前）

▲制札場の様子（会津若松市）

江戸時代になり平和な世の中になると、商売の姿もかわります。それまでは毎月同じ日に物を持ち寄り市場を開いていましたが、現在のように決まったお店で物を売るようになりました。

会津若松にも多くの店が並び、目立つように工夫した看板が使われました。

特に人の賑わう通りには、藩の決まりなどを伝える「制札」が掲げられました。

現代

海のくらし・山のくらし

山の作業小屋（西会津町）の模型

土地の特色を利用した生活の工夫が見られます。

大きな港が少ない浜通りでは、漁で1人用の小さな舟を使います。安全を願い、舟には海の神様をお供えしました。

会津地方では、漆器の元になる木材を加工する人たちがいました。山でくらした彼らは、山の神様を大切にしていました。山や海のくらしの中で、自然を尊敬していました。

●まとめ●

ふくしまの歴史をふりかえってみると、多くの争いや災害を、さまざまな知恵と工夫で乗り越えてきたことがわかります。

そのカギは自然の恵みをいかしてきたことにあるようです。みなさんは、これからの社会にはどのようなくらしが必要だと思いますか。博物館と一緒に考えてみませんか。

福島県立博物館 〒965-0807 会津若松市城東町 1-25

常設展観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円) ※高校生以下は常設展・企画展ともに無料。

電話 0242-28-6000 開館時間 9:30～17:00 最終入館は16:30まで

全体調査よりお知らせ

令和6年4月から

Web質問票が始まります

13歳以降調査へ同意いただいた、小学6年生＆保護者の皆さま

4月よりWebによる質問票がスタートします！

質問票配信のお知らせは、アプリ取得時に登録いただいたメールアドレスとエコチル調査アプリに表示されます。ご都合の良い時間にご回答をお願いします！

★お子さまのアカウントで、アプリへログインがお済みでない方は、お早めにログインし、ご登録をお願いします。

ご登録後、プレ質問票へご回答いただくと、500ポイントプレゼント！プレ質問票の回答期限が、2024年4月30日まで延長となりました。ご回答をお待ちしております。

※継続同意に迷っている方 継続同意まだまだ受付できます。

子どもが回答してくれるか分かりません。

これまでと同じで、お子さまの回答が難しい場合は、回答を見送っていただくことも可能です。

ご質問などありましたら、電話またはメールにて各事務所問い合わせ先まで、ご連絡ください。 こちらから▶

中学生になられるエコチルキッズの皆さんへ

小学校ご卒業おめでとうございます。
お母さんのお腹の中にいる時から皆さんと一緒に歩んできたエコチル調査も4月から新たな一歩を踏み出します。
これまでのご協力により様々なことを全世界に向けて発表してきました。ありがとうございます。
これからも一緒に歩み続けましょう。
スタッフ一同、皆さんの輝く未来を願っています。

エコチル調査 福島ユニットセンター長 橋本浩一 先生

学童期検査のご案内

新小学6年生を対象とした学童期検査が、今年の6月より始まります!

対象（2012年度生まれ）の方には、案内資料を **5月中旬頃**より順次発送します。

謝礼・プレゼントをご用意しております

検査内容

血液検査	●尿検査 ●問診 ●皮膚観察 ●採血
CAT検査	●身長・体重・体組成 ●CAT検査(パソコンを使用して行う検査)

※検査内容など詳しくはコチラから▶

※採血は無理のない範囲でのご協力で構いません。

2011年度生まれの小学6年生の皆さま、ご協力ありがとうございました！

令和6年度 エコチル★ふくしま親子ふれあい会

すこし早い夏休み 蒔絵体験にチャレンジ！

今年はみんなで集まろう！

昼食付き！

令和６年度の親子ふれあい会は、「対面開催」により実施いたします。
楽しい夏の思い出を作りませんか？
今回のプログラムは・・・
●蒔絵体験（絵付け体験）にチャレンジ！
●エコチル調査についてのお話
ランチタイムには、昼食（お弁当）を用意しております。磐梯山の心地よい風を受けながら、ご家族で、７月のさわやかな夏を楽しみましょう！
お申し込みをお待ちしております。

開催内容

日 時：令和6年7月7日(日) 10:30～14:30（受付10:15～・昼食を準備しております。）
会 場：国立磐梯青少年交流の家（猪苗代町）
対象者：エコチル調査に参加しているお子さまとご家族さま
定 員：25組(1家族4名まで) ※希望者多数の場合は抽選
参加費：無料
申 込(Web)：令和6年4月1日(月)～令和6年4月21日(日)

★詳細はエコチル★ふくしまホームページをご覧ください。

ホームページ・お申し込みはコチラから▼